

事務事業	11016	子どもショートステイ事業	担当課 課長	子育て支援課 吉原 正治	担当係 担当者	子育て支援課 愛甲早苗		
計後 画期 体計 系画	施策	05	子どもを安心して生み育てることができるまちをつくる	会計	1	一般会計		
		取り組み方針		130	子育てしやすい保育環境を整える	款	3	民生費
				予算科目	項目	3	児童福祉費	
					基本事業	6	子育て支援事業費	
法令根拠条例等		個別計画						
実施期間	<input type="checkbox"/> 28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H28 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度							

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)	<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
多様化する家庭環境のなか、さまざまな事情で18歳未満の児童の養育が一時的に困難となった場合、児童福祉施設に委託し、一定期間必要な保護をおこなうことで児童とその家庭の福祉向上を図ることを目的とする。	
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)	
児童福祉施設に委託し、必要に応じて原則7日以内とし児童の一時保護を行う。	
	千円
	千円
	千円
	千円
	千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 入所施設の契約事務 入所施設への連絡調整と調整事務児童の養育が一時的に困難となった場合、児童福祉施設に委託し、一定期間必要な保護をおこなう。	⇒	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	指標数値							
			名称	単位	27年度	28年度	29年度			
		ア	委託児童福祉施設数	件	-	2	2 (見込)			
		イ					(見込)			
		ウ					(見込)			
		⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	名称				単位	27年度	28年度	29年度
ア	入所希望児童数	人	-	0	5 (見込)					
イ	18歳未満の子どもの数	人	-	8,922	9,054 (見込)					
ウ					(見込)					
② 対象(誰、何を対象にしているのか) 一時的に家庭での養育が困難となる町内に住所を有する18歳未満の児童 ③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 安心して子育てができる環境を整備し、福祉の向上を図る	⇒	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	名称				単位	27年度	28年度	29年度
		ア	子どもを育てやすい町と答えた人	%	目標	-	70	70		
					実績	-	57.3			
		イ	入所児童数	人	目標	-	0	5		
					実績	-	0			
		ウ			目標					
					実績					
		エ			目標					
					実績					
		オ			目標					
			実績							

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等				146	146	146
		受益者負担等						
		一般財源				239	239	239
		合計(A)	0	0	0	385	385	385
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
		正職員人件費[按分](B)			496	605		
	トータルコスト(A)+(B)	0	0	496	990	385	385	

事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？(誰からの意見か明記)
多様化する家庭環境のなか、さまざまな事情で18歳未満の児童の養育が一時的に困難となった場合、児童福祉施設に委託し、一定期間必要な保護をおこなう。平成28年度より開始	核家族化等により、近隣の育児で支援してくれる知り合いがいない家庭が増えている。	医療機関スタッフより、このような事業を知っているなら利用したい人がいると思うのもっと周知してほしい。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続		<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください <input type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	所得に応じて自己負担金があり、養育が一時的に困難になった場合の支援を行うことができる。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか？(事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	さまざまな事情で18歳未満の児童の養育が一時的に困難になった場合の預け先があることで、安心して子育てができる。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	広報・ホームページに掲載し、他課や医療機関と連携し必要な家庭に案内を行っている。
④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	養育が一時的に困難になった場合の対応ができない。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか？(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	児童福祉施設に委託し行っている。

(2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

広報・ホームページに掲載し、医療機関・他課と連携して必要な家庭に案内を行ったが利用には至らなかった。今後も必要な人に効果的に周知を行い、利用をすすめていくためにはまずは関係機関への周知から行っていく。

3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	広報・ホームページに掲載し、他課や医療機関と連携し必要な家庭に案内を行っていく。